

兵庫 J C C

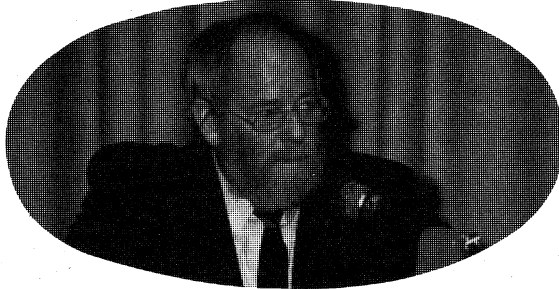
兵庫県協同組合連絡協議会機関誌

■ 第 22 号
■ 1992年12月21日発行
■ 編集発行

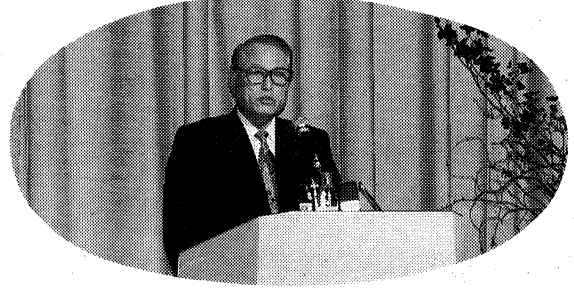
兵庫県協同組合連絡協議会
Hyogo-ken Joint Committee of Co-operatives

■ 編集事務局
〒650 神戸市中央区海岸通1番地
兵庫県農業協同組合中央会
TEL.(078)333-5888

ICA東京大会特集



「協同組合の基本的価値」を報告するベーク氏(11月28日)

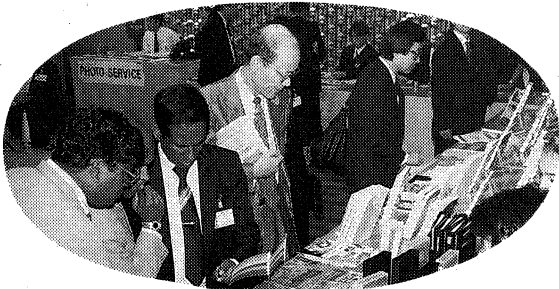


環境行動計画を発表する鹿垣JA全農会長(11月29日)



(東京・京王プラザホテル)

開会式であいさつするマルコス会長(11月27日)



人気を集めたICAグッズ(11月27日)



再会を誓い合う参加者(11月30日)

目次	1. ICA東京大会スナップ 1	6. 協同組合における事業・組織改革の方向 8~9 ~第12回日本協同組合学会大会報告~
	2. 21世紀の協同組合像を探る 2~3 ~第30回ICA東京大会報告~	7. 協同組合の「共通行動目標」を決定 10 ~第70回国際協同組合デー兵庫県記念大会~
	3. 女性の影響力を発揮するために 4 ~ICA女性委員会、女性大会を開催~	8. 協同組合運動に生きる 11 兵庫県漁業協同組合連合会 常務理事 林 一成
	4. 協同組合への提言 5 姫路独協大学 情報経済学部 助教授 中久保 邦夫	9. 協同組合研究短信〈No.7〉 12
	5. いま協同組合では〔活動紹介〕 6~7	

21世紀の協同組合像を探る

～第30回ICA東京大会報告～

ICA(国際協同組合同盟)の第30回大会が10月27日から30日までの4日間、東京・新宿の京王プラザホテルで開かれた。

100年近くにも及ぶICAの歴史のなかで、ヨーロッパの地を離れてアジアで初めて開かれた今大会には、82か国、6億6,300万人を代表する協同組合の指導者・実践者らをはじめとする協同組合人が海外から1,116人、国内のゲスト参加者を合わせて1,300人が参加した。

開会式典及び新しい定款・機構

10月27日の開会式では、マルコスICA会長が「飢え、恐れ、不正、差別のない世界、すべての人が兄弟姉妹と共に、人間らしい生活を送れる世界が私たちの目指す世界です。経済発展は私たちのメンタリティ・意識・知性の成長と呼応していくべきです。そのことを理解すれば協同組合的な解決方法が、すべての人から歓迎されるようになることは明らかであり、協同組合人のアイデンティティを守るべきです。東京大会が組合員の利益になる、歴史上大きな転機になるであろうと信じています」と挨拶した。

続いて、堀内巳次ICA東京大会組織委員長(JA全中会長)が「協同組合は市場競争という試練に直面しているが、市場原理ですべてが解決できるわけではない。協同組合が掲げる相互扶助の理念こそが課題解決のかぎを握っている」と述べた。

開会式に引続き、「新しい定款と機構」を議

題に討議がなされ、「新ICA機構実施に関する決議」が採択された。ICAの新機構は、①中央委員会と大会を統合し、2年に1回全体総会を開催し、大会の開催は必要に応じて決定する、②2年に1回(全体総会の開かれない年に)地域総会を世界の4つの地域(ヨーロッパ、アフリカ、アジア太平洋、アメリカ)ごとに開催する、など地域レベルでの連携・協調・交流の強化がはかられた。

協同組合の基本的価値

大会2日目の10月28日には、「協同組合の基本的価値」についてベーク氏の報告のあと討議がなされ、「変化する世界における協同組合の基本的価値に関する決議」が採択された。前回(1988年)のストックホルム大会でマルコス会長が徹底的な討議を提起し、スウェーデン協同組合研究所前所長のベーク氏を座長とする研究プロジェクトで検討され、世界各国で論議されてきた「協同組合の基本的価値」は、①組合員のニーズに対応する経済活動、②参加型民主主義、③人的資源の開発、④社会的責任と環境に対する責任、⑤国内・国際的協力に決定した。

これを受けて、1995年の全体総会に向けて、協同組合のアイデンティティを明確に表現することの重要性に鑑み、現行の「協同組合原則」を再検討をする。あわせて、21世紀の国際協同組合運動の事業指針となる「協同組合憲章」も採択される予定となっている。

協同組合の基本的価値

1. 組合員のニーズに対応する経済活動

協同組合組織は組合員や一般の人々のニーズを満たすために、効率的な経済活動を行わなければならない、これらのニーズを利用し、利益を生み出すものではありません。

2. 参加型民主主義

協同組合組織は経済活動をはじめさまざまな分野の活動、運動において民主的手法をとり入れなければなりません。

3. 人的資源の開発

協同組合組織は人的資源の開発が基本であり、人材を開発するための手法とするための方法を開発し、強化・維持していかなければなりません。同時に人々が生活水準を改善するために影響を及ぼせるように主張していくことが必要です。

4. 社会的責任と環境に対する責任

協同組合は社会的に責任をもつ組織であることです。組合員や人々のニーズを満たすとともに、地域社会に貢献、あるいは社会的責任、環境に対する責任を果たさなければなりません。

5. 国内・国際的協力

協同組合組織は他の協同組合組織との協調体制づくりなど、グローバルな視点から人々が緊密な関係を実現することが必要です。

進に取り組むこと、それらの目的を達成するために「環境・開発特別基金」を創設することなどを呼びかけている。また、協同組合版の環境行動計画「協同組合アジェンダ21」を1995年のICA大会で策定することも決定した。

日本の協同組合は「環境行動計画」と「レインボー環境基金」の創設(組合員1人100円で36億円の目標)を発表し、今後推進体制を整え、実践段階に移ることになった。

日本の協同組合の環境行動計画

～地球レベルで考え、地域で行動する
(Think Globally. Act Locally)～

1. 「地域環境」クリーンアップ運動

- ① くらしと地域の環境点検運動
- ② 環境商品愛用運動
- ③ リサイクル運動の拡大
- ④ 地域環境保全・美化運動

2. 環境にやさしい事業活動

- ① 環境商品・施設の開発普及
- ② 事業所・店舗における環境配慮

3. 共有の未来をひらく国際行動

- ① 途上国協同組合の育成協力と環境・開発計画づくり支援
- ② ICA環境・開発プログラムへの参画

4. 協同組合地域環境基金(レインボー基金)の創設

環境と持続可能な開発

大会3日目の10月29日には、「環境と持続可能な開発」について、アジア太平洋地域事務局、日本協同組合連絡協議会(JJC)、ドイツのマールブルグ大学のミュンクナー教授からの基調報告のあと、各国代表者による意見発表を受けて、「環境と持続可能な開発に関する宣言」が採択された。宣言ではそれぞれの国の協同組合組織が自然環境保全と、持続可能な開発の促

専門委員会報告と大会決議採択

10月30日、大会最終日には、各専門委員会から経過報告ののち、「1994年開催のロッヂデール公正開拓者協同組合150周年記念集会決議」「1995年のICA100周年記念大会決議」が採択された。ICA創立100周年大会を1995年にイギリスのマンチェスターで開催することを決定し、4日間にわたったICA東京大会は幕を閉じた。
(兵庫JCC事務局)

女性の影響力を發揮するために

～ICA女性委員会、女性大会を開催～

「協同組合のあらゆるレベルで女性の影響力を發揮するための戦略を策定する」ことをテーマに、ICA女性委員会主催の公開会議（＝女性大会）が、10月23日東京・京王プラザホテルで開催され、兵庫JCC女性委員を含む18か国250人が参加した。

進行役のICA女性委員会議長、カタリーナ・アベルクヴィトスさんは「今、世界が抱える諸問題を解決していくためには、男女が“平等”を認識しながら手を結び、性別の違いをうまく組み合わせて成果をあげていくことが求められている」と開会宣言。



歓迎のあいさつをする湯浅夏子さん

つづいて、歓迎実行委員長の湯浅夏子（日本生協連理事）さんは「女性は生活の場で貢献しまた、全労働の3分の1を担っているにもかかわらず、所得は10分の1にすぎない。意志決定の場にさらに女性が進出し、主体的に協同組合の運営に参画することを望む」と歓迎の挨拶を述べた。

各国の現状を報告

「日本の女性の地位については、根強い性的



各国の現状を報告するパネリストたち

役割分業意識の克服などが課題だ」とする総理府婦人問題企画推進有識者会議座長の縫田嘩子さんの基調報告に続いて、日本、ウガンダ、マレーシア、イギリスの4人のパネリストが、それぞれの国の女性の参画の現状を報告。熱気にあふれた会場から「協同組合にかかわる女性の65%は夫や父を通じて参加しているにすぎない」（ウガンダ）、「女性の進出が議会でも少しずつだが進んでいる。今後はマイクロ経済の重要性が注目をあつめるだろう」（アメリカ）などと多くの発言が寄せられた。

女性戦略を採択

こうした討論を経て、大会は「協同組合運動においてあらゆるレベルで女性が参加できること。ネットワークをつくり、互いに強め合い、性別を問わずよりよい暮らしを実現しよう」との女性戦略を採択し、協同組合の女性が心をひとつにできた東京での女性大会を閉幕した。

協同組合運動への提言

「協同組合的地代」
を稼ぐために

姫路独協大学 情報経済学部
助教授 中久保 邦夫

研究者には二タイプあり、一方は現状分析から将来の萌芽を見つけて頭の中で育て咲かせて見せます。深い洞察力が必要です。中には、既に知られていることを「発見」する人もいますが、苦い薬のオブラートにはなるでしょうから、それ相当の効用があり才覚も必要でしょう。他方は、過去を掘り起こして(出来ることなら)現代的意味付けをします。こつこつやる仕事です、人の役に立つか否かは危いものですが…。こういう前置きもまた古いことを引っ張り出そうとしているからです。

フォーケの「協同組合地代」

『協同組合セクター論』の第2部9章でフォーケは「協同組合地代」という言葉を使っています。ほぼ同条件下にある資本主義企業の得る利潤よりも協同組合がより多くの剰余金を得るとき、協同組合の特性がもたらす差額を意味します。ここでいう「地代」とは、土地のように固定的な要因の収益です。土地は肥え具合に従って地代が高い、という古典的な議論(「差額地代論」)の応用です。

負の「協同組合地代」

これは、正ばかりとは限りません。決定までに時間がかかりすぎるとか、理事会内の対立で事業に悪影響がでるとか、民主主義原則と絡めてよく云々される事業経営の効率性の「悪さ」や、組合員間の負担の公正を図るため、事業別に複数の割戻し率を用いなければならないという会計上の煩雑さなどは、負の「協同組合地代」の例です。フォーケは注で、例えば生協で負の「協同組合地代」が中間利潤を相殺してしまえば、その生協は、中間利潤を誰が得るかの

変更とは異なるやり方で、「利潤を廃絶」したことになるかと辛辣な皮肉を利かせています。

正の「協同組合地代」

最近はこの否定的な面が強調されている(過ぎている)きらいがあります。逆に、広告費を余り使う必要がない。殆どただで顧客情報(相当のもの)を入手できる。私的利益のためだけではなく協同組合だからこそ一生懸命になり個人的犠牲をいとわない人々が存在する、という、資本主義企業から見れば垂涎ものの特性が大きな正の「協同組合地代」をもたらしています。最後の特性がないと競争に負けるというのは情けなく不健全な話ながら、よく見られた(る)事実です。

協同する人々の質

協同組合運動は、人々の必要を満たす事業を運営する中で社会理念の実現を目指します。それは資本主義企業との不断の競争にさらされ、伍して行く必要があります。組合員はまず、必要を満たすために協同組合の輪に入るのでから、競争に負け続ける事業しか出来ないのはナンセンスです。組合員が痛切に感じる必要性(その第一は経済的なものですが、決してそれに限りません)に協同組合が応え組合員が協同組合を自らのものとする限り、少々の距離なら足をのばし、我が協同組合の至らぬところに文句を言うという「協同組合地代」を享受できるでしょう。フォーケは協同組合に関わる人々の質次第だと結んでいます。

協同組合は結局のところ、人と人との絆がもたらすものであり、「協同組合地代」とは、その絆の強さの指標です。地代を稼ぐには、組合員や職員という畑を日頃から耕し、手入れしておかなければなりません。

そして最後に

研究者の畑も同様でしょう。小生より先にこの欄に書くべき人はたくさんおいでのはずですが、研究費という即効性の肥料も勿論、要りますが、それより日頃から良く耕しておく必要がありますか?

いま協同組合では 活動紹介

生協

海外との交流進む



韓国の大学生協を訪問し交流を深める

I C A 東京大会の開催に先立つ、10月20日、コープこうべ・協同学苑で「第5回・3大生協シンポジウム」が開催されました。2年ごとの開催ですが、コープこうべ、ドルトムント生協（ドイツ）、ストックホルム生協（スウェーデン）のメンバーに加え、今回は、CRS生協（イギリス）がオブザーバーとして参加しました。

また、神戸大学生協は10月27日から1週間、韓国の大学生協を訪問し交流を深めました。韓国は5大学に生協があるにすぎません。神戸大学生協では、自らの経験のもとに、韓国の大学生協設立を応援していくことにしています。

このほか、神戸医療生協ではモンゴルの首都ウランバートルに今夏設立されたモンゴル健康生協「エネレル」（歯科医療、購買、文化健康教室の各事業をおこなう）の医療生協部門の支援を決めました。これは神戸医療生協の黒田医師が再三、モンゴルを訪問し、近代化がすすむ同国で虫歯など歯科治療の必要性が高まっているながら、診療体制がすすまない状況を憂慮し、歯科治療台など設備を贈り、歯科技術を教えようというものです。

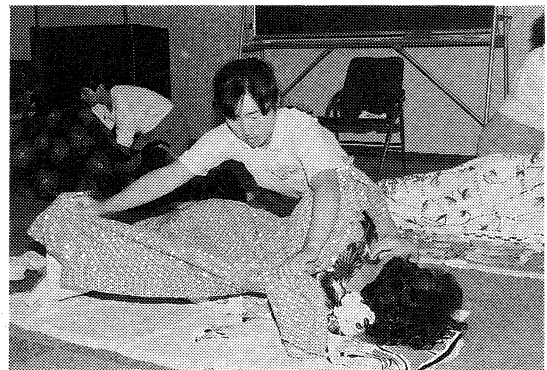
J A

各地にひろがる ふれあい助け合いの輪 ～ホームヘルパーを養成～

農村地域の高齢化は、日本全体を先取りして進行しており、独り暮らしや寝たきりの高齢者が増加しています。

J A（農協）では、昨年11月の第25回県農協大会で『安心して心豊かな健康・高齢者対策活動の取り組み』を決議し、この中で「要介護高齢者に対する支援活動の取り組み」として生活援助活動を打ち出しました。

その一環として、今年度から「J A 高齢者介護リーダー養成研修会」を開催し、本格的な取り組みが始まりました。この研修会は、国（厚生省）の定めるホームヘルパー養成研修事業実施要領にもとづいた研修として県知事から指定を受けたもので、県下16 J A の婦人部員、生活指導員を中心に受講し、のべ41時間の講習を経て、93人がホームヘルパー3級（家事援助業務が中心）の資格を取得しました。



介護実習に汗を流す参加者

「老い」はもはや個人や家庭内の問題にとどまらず、地域社会全体で考えなくてはならない問題になっており、地域の援助システムとしての組合員の組織づくりなど、今後さらに J A の事業活動として積極的な取り組みをすすめます。

漁協

第12回全国豊かな海づくり大会開催

第12回全国豊かな海づくり大会は、11月8日千葉県勝浦市の守谷海岸に、天皇・皇后両陛下をお迎えして盛大に開催された。

大会は、水産資源の維持培養と海の環境保全の重要性を広く国民にアピールするとともに、わが国水産業の発展、水産を核とする地域産業の発展を目的に毎年開かれている。



豊かな海づくりをアピール

今大会は、「育てよう 生命いのちのふるさと 青い海」をテーマに、各種行事、地域名産物の展示即売、水産関係展示等が行われた。

歓迎行事では、マーチングバンドやマスケゲームが演じられ、メインの式典においては、約4千人が列席のもと、厳かに開会進行され、天皇陛下のおことばのあと、最優秀作文に入選した土屋知穂さん(御宿中学校1年)の朗読、青年漁業士の鈴木夫妻が漁業者代表として、つくり育てる漁業、資源管理型漁業推進への決意を「誓いの言葉」として宣誓。このあと池尻全漁連会長が大会決議を読み上げ、盛大なる拍手で採択された。続いて、来年の開催県である愛媛県を代表し、伊賀知事が大会旗を受け継ぎ、中野千葉県副知事の閉会の言葉により幕は閉じられた。

森林組合

第8回千種町林業祭開かれる

山々の紅葉が色あざやかな、晩秋の11月21日と22日の2日間にわたり、千種町森林組合の第8回千種町林業祭が開かれた。

この催しは、同町文化祭の協賛行事として毎年この時期に開いているもので、地域の自然環境にはぐくまれた木の良さと木の温もりを見直し、大切にしてもらおうとともに、地域林業の振興をはかることを目的としており、組合貯木場や倉庫をイベント会場に組合員、地域住民らに参加して盛大に行われた。

21日には、育林技術(製林品)コンクール(13人出品、4人受賞)、100年の森育林コンクール(13集落出品、3集落受賞)の表彰と展示が行われた。また、21日・22日には木工教室が開かれ、児童・父兄約200人が参加し、糸のこ、ドリルで手型・細木・筆立て・ペンダントや折りたたみイス・踏台の組み立てなどにチャレンジし、人気を集めた。



みんなで楽しい木工教室

その他、ちくさ杉の優良材・木竹加工品展示即売会、チェーンソー等林業機械展示即売会、4WD軽トラック・ワゴン・ジープ展示即売会やとち餅ぜんざい・焼きいもサービスコーナーなども好評で、参加者は楽しい秋の1日をすごした。

協同組合における事業・組織改革の方向

～第12回日本協同組合学会大会報告～

第12回日本協同組合学会大会が11月6日～8日に山形県鶴岡市で開かれ、シンポジウムでは「協同組合における事業・組織改革の方向」をテーマに活発な議論がくりひろげられた。

今回、このテーマがとりあげられたのは、「ICA東京大会の成果を踏まえ、協同組合の現代的諸課題を総合的に意識しながら、日本の協同組合の共通する核心的課題と判断される『事業・組織改革』の方向を検討」（藤谷座長解題）することが今日極めて重要である、との認識にもとづいたものである。そして、この中では協同組合の「事業改革」こそが検討の主課題であって、その意味では「組織改革」は「事業改革」の前提ないし手段として位置づけられるものであることが、座長から強調された。

座長の問題提起のあと、川口清史（立命館大学）、福間莞爾（全国農協中央会）、芳賀唯史（みやぎ生協）、平石裕一（名古屋商科大学）の4氏からそれぞれ報告があり、それにもとづいて活発な議論が展開されたが、ここではこの4氏の「報告要旨」を報告したい。

協同組合の現代的課題と事業・

組織改革の位置

川口清史(立命館大学)

ICA東京大学でのベーク報告は、現代の協同組合が直面する課題として民主主義と資本形成の問題に焦点をあてて分析した。そして、こ

れは相互に関連し、支えあうものであり、民主主義への投資は利益を生むものであり、事業経営においても重要な役割をはたしうることを強調した。

ところで、日本での事業組織改革問題は、生協では店舗業態への対応が課題である。この場合、二次組織問題（県域を越えた事業連合）と資本形成問題が課題である。店舗展開は共同購入とは比較にならないくらい膨大な資本調達が必要である。その場合、出資金と内部留保、組合債といった組合員に依拠した資金調達だけでは量的にも限界があり、調達コストも必ずしも安いものではない。

また、店舗を中心とした事業改革は、これまでの活発な組合員参加を支えてきた組合員組織のあり方にも影響を及ぼさざるを得ない。「民主主義の理想」といわれた班は多くの場合共同購入の受け入れ組織であり、店舗事業における組合員参加はまだ十分な蓄積がないからだ。

農協における事業・組織改革

福間莞爾(全国農協中央会)

系統農協はいま、3段階組織の再編にとりくんでいるが、これは現在の系統農協をめぐる環境の変化は、事業論を超え、組織論をもって対応するしか有効な手だてがなくなったということ物語っている。この組織整備のポイントは次の3点にある。一つは、組織整備の原点を農

協におき、これを合併による規模拡大によって地域における協同活動の主役として農協の体制を整備すること、二つは、連合組織（県連、全国連）を統合して、現在の3段階制を事業・組織ともに2段にすること、三つは、事業2段の具体策として、農協の全国連直接利用を進めることである。そして、大規模合併農協を地域における組織・事業活動の拠点と位置づけ、連合組織は農協の補完組織としての機能発揮に徹することである。この場合、農協の姿はあくまでも現在の総合農協を想定しており、総合事業体としての特性を発揮していくことが組織整備の基本である。

生協における事業・組織改革

芳賀唯史(みやぎ生協)

90年代の生協運動は「人間らしい豊かなくらし」を担う「生活創造型」の生協づくりをすすめているが、80年代に大きく成長した「共同購入」だけでは限界がある。全国の多くの生協が共同購入という業態から店舗という業態に目を向け始めているのは、生協の発展経過からみて、自然で道理のあることだと思う。しかし、これには多くの課題があり、1生協では困難なことであり、ここに「県域を超えた事業連帯組織＝事業連合」結成が全国的に広がっている背景がある。

ここで問題となることのひとつは、事業連合組織が、生協の組合員民主主義を損なうのではないかという危惧である。確かに何も講じなければ事業連帯組織が組合員民主主義の障害物として機能する可能性が皆無だとはいえない。問

題は事業連帯組織にふさわしい組合員民主主義が発揮されるシステムを用意し、執行部・事務局がそれを守りぬくことにある。各地域での事業連帯組織の結成は始まったばかりだが、構成単協がそれぞれの歴史体質を尊重しあいながら、単協の組合員の利益を増進させることが重要である。

信用金庫・信用組合における

事業・組織の改革

平石裕一(名古屋商科大学)

信用金庫・信用組合は、1970年代終わりからはじまった金融自由化によって、調達資金面はもちろん、その運用面でも大きく変化し、総資産経常利益率は大幅に低下した。そして、金融自由化は市場経済の荒波のなかでの収益チャンスを指向する金融機関的側面への傾斜を強め、市場経済の中で相対的に不利を蒙りやすい中小企業や大衆の対抗力たるべき協同組織性を強めるべき側面が等閑視させられる要素を多分にもっていた。

今後は両組織とも「金融制度改革法」によって業務の多角化が進むが、忘れてならないことは、モラルなき儲け主義・効率主義や都銀の戦略・技能の無条件遵守主義、お上の指示命令絶対主義から脱却することだ。協同組織金融機関として、金融の民主化、中小企業・大衆という下からのニーズを大切にするという思想に徹することで、そのために重要なことは「庶民の顔」をもった経営リーダーのもとに団結した人づくりを行うことである。

(加藤 整)

協同組合の「共通行動目標」を決定

～第70回国際協同組合デー兵庫県記念大会～

第70回国際協同組合デー兵庫県記念大会を、兵庫JCCの主催で7月4日(土)、神戸文化ホールで盛大に開催した。

「協同が息づく兵庫のまちづくり」をテーマに県内の生協、JA(農協)、漁協、森林組合の組合員、関係者ら1,000人が参加。スリランカの協同組合の女性代表を招待し交流を深めた。

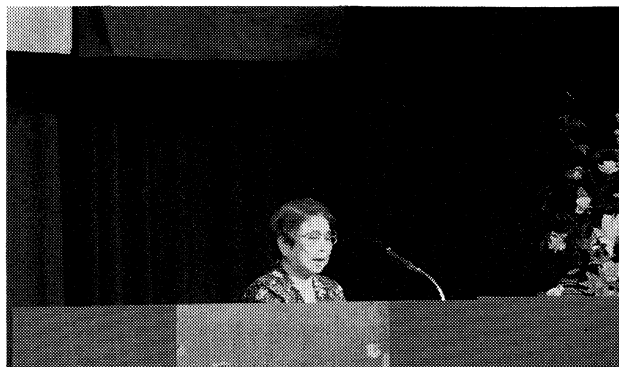
記念式典では、主催者を代表して兵庫JCCの竹本成徳会長(県生協連会長)が、「ICA大会が初めてヨーロッパを離れて東京で開催されることで、本日のデーは従来にまして意義深い日であり、アジアの仲間ともしっかり手をつないで、協同組合運動の一層の前進をめざそう」とあいさつ。



あいさつするスリランカ協同組合女性代表

スリランカの協同組合の女性代表も、スリランカの協同組合運動の実態を紹介し、「協同組合運動は、差別のない唯一民主的な団体です。世界平和、環境保護、人間主義を守るために、『一人は万人のために、万人は一人のために』の協同組合スローガンのもとで共にならばりま

しょう」とあいさつ。さらに、スリランカ全国女性委員会会長からの連帯のメッセージを送った。



兵庫JCC宣言を朗読する播磨会長

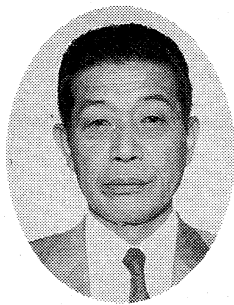
「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして—協同が息づくまちづくり」を基本理念とする協同組合の『共通行動目標』を内容とする兵庫JCC宣言を、県漁協婦人部連合会の播磨よし子会長が朗読し、参加者全員の力強い拍手で確認し、一層の提携強化をめざすことを誓いあった。

今年度は第70回という記念すべき年でもあり、ICA東京大会を記念して前進座による「怒る富士」を上演し、盛会のうちに幕を閉じた。

「共通行動目標」の具体化へ

協同組合の『共通行動目標』の具体化への取り組みについては、各協同組合から具体的な行動具体案を持ち寄り、10月に共通行動目標策定委員会、兵庫JCC幹事会の検討を経て、目標の具体化と目標達成のため、①組合員活動の提携、②業務活動の提携の2分野別に小委員会を設置して、提携促進の研究をすすめることになった。

協同組合運動に生きる

協同組合の
基本的価値に
思う

兵庫県漁業協同組合連合会

常務理事 林 一成

加速度的に変革する経済・社会の中で、いま、漁業協同組合は何をしなければならないのか、その存在理由と対応戦略を内外に明らかにすることを迫られている。

そのようなとき「協同組合の基本的価値」が論じられることは、誠に時宜を得たテーマで、この機会に合意形成が実現すれば大変喜ばしいことである。

1988年ストックホルムで開かれた第29回 I C A 大会でマルコス会長が提起した4つの「基本的価値」は、世界各国の関係者に強い関心を呼びおこした。漁協系統においても全漁連主催の研修会等にとりあげ論議を重ねた。

耳なれない響きの言葉である「協同組合の基本的価値」について、マルコス会長は①参加、②民主主義、③誠実、④他人への配慮の4つを提唱し、たたき台として論議していただきたいと述べているが、この4項目は何れも協同組合運動の基本的な概念・倫理である。

確かに「基本的価値」をめぐる論点は大変幅広く統一することの困難性は理解できても、協同組合運動に携わる実務者としては誰もが納得しうる心のよりどころとなる価値を追求したい。しかし、現在私が知見した様々な論議は大変わかりづらい議論の展開となっており、「基

本的価値」とは一体何を意味するのかという定義の統一が必要である。

一方、I C A の専門機関の一つである漁業委員会の斎藤委員長が漁協の基本的価値（社会的価値）として提示した①資源・エネルギーの管理、②環境の保全、③食糧の生産、④平和の擁護の4項目は、I C A 東京大会漁業委員会に報告されるとともに、11月に開催した第4回全国漁協大会運動方針の基調部分にその要旨を反映させている。

しかしながら、これらを実践する漁協組織はかつて経験したことのない緊迫した経営環境におかれ、経済事業体としては余りにも組織基盤が零細であることに加えて、漁協の事業の活動基盤となっている漁業そのものが資源の減少と労働力の不足から縮小経営を余儀なくされ、組合員が必要とする基本的なニーズにも応えられなくなるのではないかという不安に悩まされている。

我が国漁協の伝統的な特徴でもある津々浦々に漁協を組織し、地先漁業権の管理・行使を主たる事業として、「助け合い」と「共存共栄」の精神をよりどころに漁村共同体をつくりあげ、今日なお小規模経営を続けている漁協の多くが直面している深刻な問題である。

このような環境下で漁協の自立が問われているが、今何よりも大切なことは、この組合を築いてきた先人の労苦を偲び、感謝の気持ちをもって誠実に組合員としての義務を果たすと同時に、協同組合の存立の値打ちについて全組合員が論議し、今、最も求められている組織の強化を根本的に見直して、魅力ある豊かな漁業と漁協の再構築を目指した協同運動を推進しなければならない。

協同組合研究短信<No.7>

第22回全国報徳大会

農協の祖型をなす二宮尊徳の案出した報徳社は、江戸末期の相互扶助組織であるが、今日もなお、この組織は、全国各地で様々な会合をもち、勤労をたっぴ、分に応じた生活をおくり余力をいかに他に譲るかで苦労を重ねている。

一方、経済史の立場から、あるいは地域振興策の立案過程で、協同組合運動の原型として実践家や研究者の理論づけも絶ゆることなく続けられている。

報徳思想が今日なお継承されているのは、二宮尊徳にすぐれた子孫や高弟達がおおり、彼等が教えを乞うた地で、あるいは帰村した先々で普及組織をつくりあげたからにはほかならない。

北海道、福島、栃木、神奈川、静岡、愛知、大阪府下等々に地域の名を冠した報徳社があり、会報も継続して発行されている。

実践事例の交流も毎年行われており、少なからざる研究成果も年を追って蓄積されている。

交流の最たる場は、全国各地の報徳社を統合する大日本報徳社(本社・静岡県掛川市)が主催する全国報徳社大会、報徳社のほか、二宮尊徳の研究団体、関連団体が広く参加する全国報徳団体連絡協議会(略称・全報連)の全国報徳大会がある。

両大会は、実践事例の報告会でもあり、報徳研究の成果を発表する場ともなっている。全報連の今次第22回大会は、二宮尊徳の代表的高弟で、名著『二宮翁夜話』『富国捷徑』の著者・福住正兄の没後100年の記念集会として福住

正兄ゆかりの地、神奈川県下・小田原、箱根・湯本を会場として開催された。

第1日のシンポジウムでは4人の研究成果が発表された。

金原左門氏(中央大)の「明治初期の箱根・小田原地域の振興と福住正兄」と題する報告は、箱根塔の沢に湯治していた福沢諭吉、旅館「福住」を経営する福住正兄、足柄県知事・柏木忠俊には親交があったこと、同地の地域振興に度々相談しあっていることを明らかにした。

貝城悌治氏(日ノ木短大)は、「明治期の報徳運動と福住正兄」で大日本報徳社を組織する岡田良平はヨーロッパ功利主義の影響を受けたが、福住正兄は、平田篤胤の復古神道に心酔し後に二宮神社の創建に尽力する経緯をのべ、両者を対比した。

吉岡鋼市氏(横浜国大)は、福住が建築した「万水楼・福住」は、県下切っの優れた大工を登用し、良質の建材・調度品を吟味し、部屋ごとに趣向をこらし防火扉を設けるなど、神奈川県最古の擬洋風建築で日本建築史上著名な建造物であるゆえんを明らかにした。

会場には、相馬報徳会の『地域おこしの手本／至誠一貫の富田高慶』、報徳博物館の『尊徳門人聞書集』等4点の新本が展示されていた。

(協同組合図書資料センター 古桑 實)

編集後記

ICA東京大会は盛会裡に終了しましたが、この大会を機にわたしたちも行動を起こすことが求められています。(A)